

「有田巧 熊本日々」展

有田巧さん

の水彩画展

「有田巧 熊本日々」展を開

催しました。

本展では、熊

本の古い街並

みを描いた約

40点の水彩画

を2010年

からの作品群

とともに、シ

リーズ最新作

を展示しまし

た。水彩の持

ち味である、のびやかでみずみずし

い色彩や、紙の吸い込みやにじみを

生かして描かれた、古い家屋の表現

の繊細さに、皆さん熱心に見入って

いました。(K・O)

2017.7.9

GⅢ vol.117

「有田巧 熊本日々」展

アーティストトーク&

水彩画ワークショップ

画家の有田巧さんに、本展出品作

品である水彩画「熊本日々」シリー

ズについてお話いただきました。アー

ティストトークは展覧会場内で行わ

れ、実際の作品を見ながら、水彩画

で細いペンで描くことを選んだ理由



や、展示の配置の説明(基本は制作年順)、スケッチしている最中の

建物の店主との交流エピソードまで、盛り沢山な内容でした。展示作品で使われている紙は4種類、紙と絵具の相性、色の滲み方にそれぞれ違いがあることなどもお話いただきました。

続く水彩画ワークショップは、「オバケを描こう」というテーマで、色紙に水彩絵の具で描く内容でした。有田さんが様々な画家による「オバケ」の参考資料(ピカソやルドン、妖怪など含む)を紹介し、参加者それぞれが自分のオバケのイメージを膨らませて、そ



れぞれの創作で描きました。色紙に描くということで、絵の具のじみの表現をどのように活かすかなど有田さんからの個別指導もあり、大人から子どもまで、皆さん集中して描いていました。完成後、担当学芸員が、華やかな色遣いから繊細な描写まで、個性豊かな「オバケ」作品の魅力を読み解くミニトークを行いました。(H・T)

【参加人数30人】